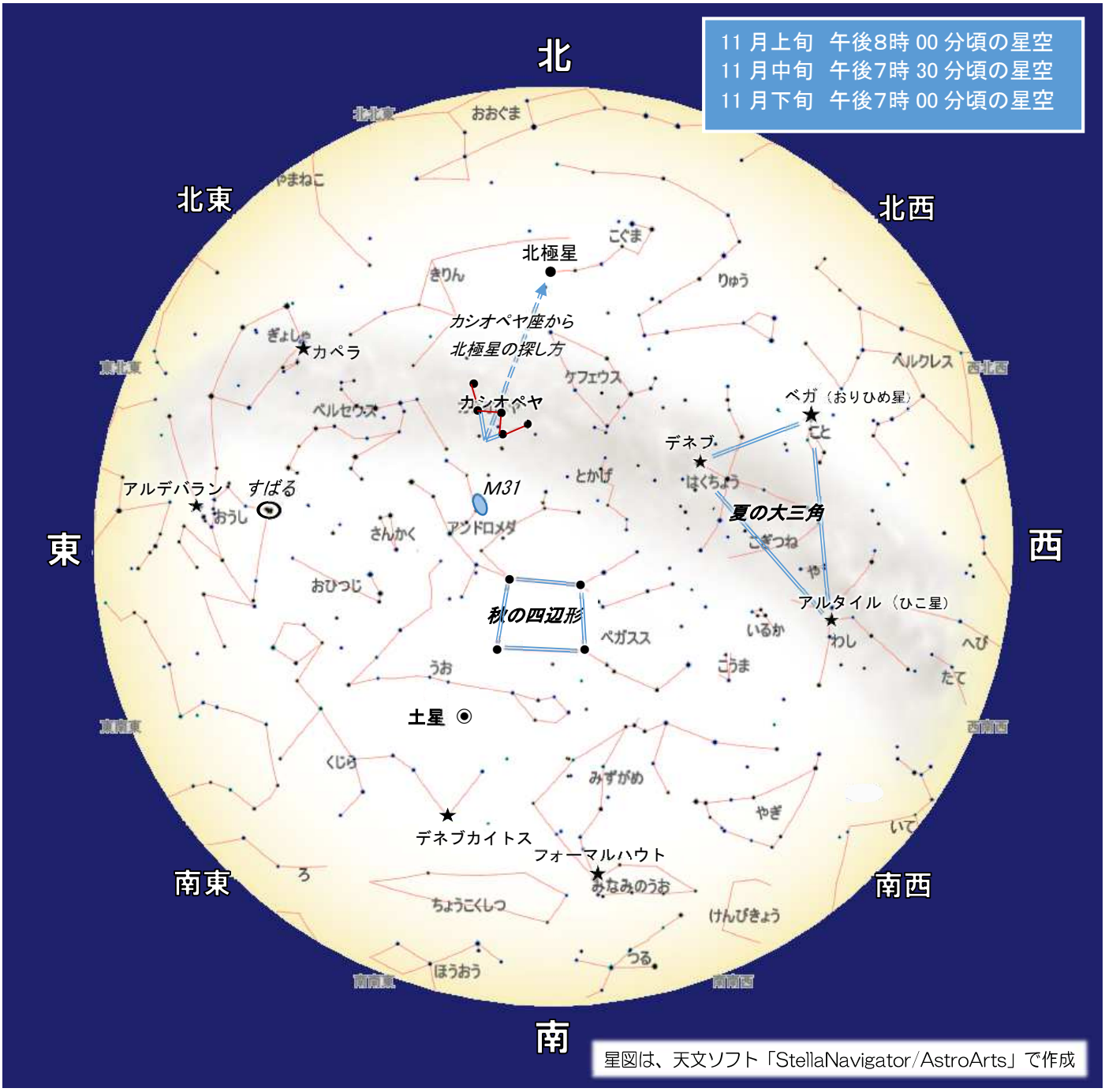
2026年 １１月の星空案内



【１１月の星空】

秋の星座さがしの目印は、ペガスス座の『秋の四辺形』です。西側の辺を南に延ばすと、秋の星座で唯一の１等星フォーマルハウト、東側の辺を南に延ばすと土星、さらに延ばすとくじら座のデネブカイトスを見つけることができます。また、東側の辺を北に延ばすと、カシオペヤ座や北極星が見つかります。日の入りの時刻も早まりますが、日が暮れてしばらくの間は、まだ空高くに『夏の大三角』（ベガ・アルタイル・デネブ）が輝いています。

【１１月の惑星】

宵の南の空には、土星が明るく、観望の好機を迎えています。昨年は環を真横から見る形になって環がほとんど見られませんでしたが、今年は環が再び開いて、望遠鏡では環をまとった美しい土星の姿を見ることができます。明け方の東の空では金星が「明けの明星」として、大変明るく輝いて見えます。

さいたま市青少年宇宙科学館